

親子で天体観測



## 夜空を見上げてみよう

時期:2月

### 木星を見よう

明るい星が多い冬の星たちの中に、-2.5等級で一際明るく輝いている星があります。その星は太陽系最大の惑星「木星」。1等星が多い冬の星座の中でも目立っており、やや黄色く見え、瞬きが少ないのですぐに分かります。

木星を双眼鏡や天体望遠鏡で見てください。まずは木星の周りを回っている4つの衛星(ガリレオ衛星)を見つけることが出来ます。時間をあけて見ると、どんどん動いて位置を変えていくことが分かります。

木星本体の縞(しま)模様にも注目です。木星はガスで出来ていて、およそ10時間で1周していることから縞模様になります。1番目立つ縞は、レンズの大きさが5cmの天体望遠鏡でも確認出来ます。更に大きな望遠鏡であれば、見える縞の数も増えて細かい模様も見えます。

木星の模様をよく見るためには、星があまり瞬いていない時が良いでしょう。瞬きが激しいということは大気の状態が悪いことなので、ゆらゆらと動いてしまって良く見えません。また、出来るだけ木星が高く上った時の方が大気の影響を受けにくくなります。しばらく見ていると、時折大気が落ち着いてはっきりと見える瞬間がありますので、それを見逃さないように、じっくりと観察することをお勧めします。



★ 日立シビックセンター 科学館  
川崎 寿則

#### 天文現象

- 2月7日(金) 上弦の月
- 2月15日(土) 満月、金星が明け方の空で最大光度(-4.6等)
- 2月23日(日) 下弦の月
- 3月1日(土) 新月

#### ワンポイントアドバイス

2月中旬は20:00~21:00の頃、頭の真上付近に明るく輝きます。

#### 日立シビックセンター天球劇場の上映案内

★スターウォッチング「オリオン大星雲をみよう！」 2月19日(水) 18:00~19:00(新都市広場)  
参加無料 ※悪天候時は中止

★講演会「宇宙生命は存在するか - 天文学からのアプローチ -」 2月21日(金) 18:30開演  
講師:渡部潤一(国立天文台副台長) 入場料:全席指定1200円 好評発売中!(残席わずか)

[問い合わせ] ☎0294(24)7731 <http://www.civic.jp>



日立シビックセンター科学館よりプラネタリウム入場券をペア2組にプレゼント。  
11日必着で茨城朝日宛てハガキで応募を。